

地域住宅計画の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した地域住宅計画	
計画の名称	温泉地域
都道府県名	北海道
計画作成主体	中川町
計画期間	平成17年度 ~ 18年度
計画の目標	ストック活用計画にも位置づけている老朽化した不良住宅を除去し、用途廃止を行うことにより、跡地の有効な土地利用をはかり、住環境を向上させる。
2. 事後評価の内容	
実施体制・時期	中川町において評価を行う(平成19年5月)
事後評価の結果	<p>指標 : 「空家の老朽住宅の解消」</p> <p>定義 : 耐用年限の経過した政策空家の老朽住宅の除去</p> <p>評価方法 : 用途廃止報告書</p> <p>結果 : 従前値:16戸(17年度) 目標値:0戸(18年度) 実績値:0戸</p> <p>結果の分析 : 耐用年限の経過した政策空家の老朽住宅については、平成18年度までに小規模住宅地区等改良事業(老朽住宅除去等事業)により16戸全て除却し、0戸となった。</p>
結果の公表方法	窓口にて閲覧可。
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
今後の住宅施策の取組への反映	<p>(事後評価の結果を踏まえ、次期地域住宅計画に反映すべき事項や目標を達成するための措置等を記載。地域住宅協議会等において協議を行った場合はその旨を記載。)</p> <p>住環境を阻害していた老朽住宅は、すみやかに除去することができた。今後もストック計画に基づいた公営住宅の建替えや既存ストックの改善により適正な維持管理を図っていく。</p>
その他	(特記すべき事項があれば記載)

この事後評価は別添の地域住宅計画について行ったものである。